

台湾における図書館情報学教育: 発展, 現状, 将来展望

Library and Information Science (LIS) Education in Taiwan The Development, Current Situation, and Future Perspectives

1. 台湾における LIS 教育の沿革

台湾最初の図書館学プログラムは 1955 年に師範大学 (National Taiwan Normal University) の成人教育学科に開設された。これと共に生涯学習ニーズに応えるものとして、ジャーナリズム、ソーシャルワークの 2 つの課程も開設されている。台湾における図書館情報学界は数十年にわたる努力と発展の結果、現在は 10 の公的機関が図書館情報学の研究その他のプログラムを実施するに至っており、その中には学士から博士にいたる教育プログラムが含まれる。その他に遠隔学習プログラム、特別プログラム、単位交換認定プログラムを提供する 1 機関がある。

この 11 の機関は次のとおりである。1) 師範大学 (National Taiwan Normal University, NTNU), 2) 台湾大学 (National Taiwan University, NTU), 3) 世新大学 (Shih-Hsin University, SHU), 4) 輔仁大学 (Fu Jen Catholic University, FJU), 5) 淡江大学 (Tamkung University), 6) 政治大学 (National Chengchi University, NCCU), 7) 玄奘大学 (Hsuan-Chuang University, HSU), 8) 中興大学 (National Chung Hsing University, NCHU), 9) 国立空中大学 (National Open University, NOU), 10) 交通大学図書館 (National Chiao-Tong University Library, NCTU-Lib.), 11) 国立中山大学図書館 (National Sun-Yet-Sen University Library, NSYSU-Lib.)。これらのうち 7 機関 (上記番号 1, 2, 6, 8, 9, 10, 11) は国立大学, 他の 4 機関 (番号 3, 4, 5, 7) は私立大学である。学士課程への入学には、面接や特別許可による入学など少数の例外を除いて、一般には高校卒業後に大学入学共通試験を受ける必要があり、その成績と志望順位によって入学が許可される。大学院についてはほとんどの大学が志願者に対して筆記試験と面接を課している。政治大学と中興大学は大学院レベルのプログラムのみを提供している。

表 1「台湾の各レベル LIS 教育プログラムの発足年」に示すように、師範大学 (NTNU) は学部レベルの図書館学プログラムを 1955 年に発足させ、1998 年には図書館情報学科 (LIS) と改称し、2002 年には大学院レベルの課程を開講した。台湾大学 (NTU) は学部レベルの図書館学科を 1961 年に創設し、1980 年に大学院、1989 年に博士課程を設置し、1987 年に図書館情報学科と改称し、更に 2001 年には生涯教育プログラムを開始した。世新大学 (SHU) の図書館学科は 1964 年創設であるが、当時は短大であったため学位授与はなく、大学への改組がなされた 1993~94 年には中断していた。同学科は 1995 年に復活し、2000 年に名称を図書館情報学科に変更した。輔仁大学は 1970 年に図書館学プログラムを開設し、翌年には成人教育を開始し、1992 年に図書館情報学科と改称し、さらに 1994 年に至ってフルタイムの修士課程と社会人枠を開設した。淡江大学の図書館学科は 1971 年に設立され、2000 年

までは教育情報学科と称していたが現在では情報図書館学科 (ILS) となっており, また 1991 年には修士課程を創設している。政治大学は 1996 年に LIS 大学院課程を設置し, 2004 年に図書館・情報・文書館学科と改称した。玄奘大学は学部レベルの, 中興大学は大学院レベルの各 LIS プログラムを 1999 年に創設した。空中大学が 1986 年に開設した LIS プログラムは職業的訓練を希望する図書館員のために遠隔授業を行うことを目的としていた。交通大学図書館の大学院レベルの技術指向のプログラムは, デジタルライブラリ職員の育成を目的に, 同大学コンピュータセンターと共同で立ち上げた新しいタイプのコースである。いま一つ注目すべきプログラムは中山大学図書館のもので, 教員を学校図書館職員として訓練するために教育省の委託により修了証書授与プログラムを運営している。以上のほか国家図書館 (National Library) および中国図書館学会 (Library Association of China, LAC) も OJT プログラムを持ち, 通常 LIS 教育機関に委託運用しているほか, 随時ワークショップを開催している。

以上の記述から, 台湾の LIS 教育は過去 50 年の間に北部から南部へ, 学部レベルから博士課程レベルへと順次拡大したことが理解されよう。現在図書館専門家は協力して LIS の世界的動向への適応と情報技術の進歩への追従に努めている。

教育レベル	大学院			大学学部		コメント
	博士	修士	Master's	学士	学士	
LISE 教育機関		7ヶ月	社会人	7ヶ月	社会人	
1. NTNU-a Normal Univ. 師範大學社會教育學系圖書館組				1955		1998年に LIS に名称変更
1. NTNU-b Normal Univ. 師範大學圖書資訊研究所	*	2002				2002年に LIS として設立
2. NTU Taiwan Univ. 台灣大學 圖書資訊學系所	1989	1980	2001	1961		1987年に LIS に名称変更
3. SHU Shih-Hsin Univ. 世新大學 資訊傳播學系所(原圖書資訊學系)		2000	2002	1964 (1995)	1998	1964年に短大(学位なし)を開設・1993-1994年は中断・1995年に LIS として再開, 2000年に IC に名称変更
4. FJCU Fu Jen Univ. 輔仁大學 圖書資訊學系所		1994	1994	1970	1971	1992年に LIS に名称変更
5. TKU Tamkung Univ. 淡江大學 資訊		1991		1971		1971年に教育情報として開設・2000年に LIS に名称

與圖書館學系所 (原教育資料科學系)				変更
6. NCCU Chengchi Univ. 政治大學圖書資訊學研究所	1996			1996年に LIS として開設 2004年に LIA に名称変更
7. HCU Hsuan-Chuang Univ. 玄奘大學圖書資訊學系			1998	1998年に LIS として開設
8. NCHU Chung Hsing Univ. 中興大學圖書資訊學研究所	1999			1999年に LIS として開設
9. NOU Open Univ. 國立空中大學人文學系傳播與圖書資訊組			1986	1986年に遠隔プログラムを開始
10. NCTU-Lib Chiao-Tong Univ. Library 交通大學數位圖書資訊組碩士在職專班		2002		電子図書館プログラム
11. NSYSU-Lib Sun-Yet-Sen Univ. Library 國立中山大學			2000	学校図書館員の20-単位プログラム
12. Others	-National Central Library (NCL) -Library Association of China (LAC)		Learning passport	

表 1. 台湾における各教育レベルの LIS プログラム開設年

1. Department of Adult & Continuing Education, National Taiwan Normal University (NTNU-a)
2. Graduate Institute of Library & Information Studies, National Taiwan Normal University (NTNU-b)
3. Department/Graduate School of Library & Information Science, National Taiwan University (NTU)
4. Department/Graduate Program of Information & Communications, Shih-Hsin University (SHU)
5. Department/Graduate School of Library & Information Sciences, Fu Jen Catholic University (FJCU)
6. Department/Graduate School of Information & Library Sciences, Tumkang University (TKU)
7. Graduate Institute of Library, Information, and Archival studies, National Chengchi University (NCCU)
8. Department of Library & Information Sciences, Hsuan-Chuang University (HCU)
9. Graduate Institute of Library & Information Science, National Chung Hsing University (NCHU)
10. Department of Humanity and Liberal Arts, Division of Communication, Library and Information, National Open University (NOU)
11. Program of Digital Library, National Chiao Tong University (NCTU)
12. National Central Library (NCL), Library Association of China (LAC)

2. 台湾における修了認定制度

各教育機関はそれぞれ独自の卒業条件を定めている。各大学の卒業に必要な履修科目および単位数は教育省の規則に従って定められており、表2「台湾の LISE 修了認定制度」に示すように学部レベルでは 128～140 単位、大学院のほとんどは修士課程で 30 単位を要求している。空中大学は社会人向け専門コースとして 18 単位の 7 科目を開設している。交通大学のデジタルライブラリープログラムはデジタルライブラリーに特化した大学院レベルのプログラムである。中山大学図書館は台湾北部で LIS 学科の教育を受ける機会のない教員向けに、20 単位の学校図書館司書トレーニングプロジェクトを提供している。

教育レベル LISE 教育機関	大学院			大学学部		コメント
	博士	修士 フルタイム	修士 社会人	学士 フルタイム	学士 社会人	
1. NTNU-a Normal Univ. 師範大學 社會教育學 系圖書館組				128		
1 NTNU-b Normal Univ. 師範大學 圖書資訊研 究所		30				
2. NTU Taiwan Univ. 台灣大學 圖書資訊學 系所	18	30	30	148		
3. SHU Shih-Hsin Univ. 世新大學 資訊傳播 學系所(原圖書資訊學 系)		30	30	136	72	
4. FJCU Fu Jen Univ. 輔仁大學 圖書資訊學 系所		30		134		
5. TKU Tamkung Univ. 淡江大學 資訊與圖 書館學系所(原教育資 料科學系)		30		139		
6. NCCU Chengchi Univ. 政治大學 圖書資訊學 研究所		28				学位論文なし
7. HCU Hsuan-Chuang Univ. 玄奘大學 圖書資訊學 系				135		

8. NCHU Chung Hsing Univ. 中興大學 圖書資 訊學研究所		36				
9. NOU Open Univ. 國立空中大學人文學 系傳播與圖書資訊組						7 コース 18 単位
10. NCTU-Lib Chiao-Tong Univ. Library 交通大學 數位圖書 資訊組碩士在職專班			24			電子図書館プログラ ム・学位論文なし
11. NSYSU-Lib Sun-Yet-Sen Univ. Library 國立中山大學					20-単位	学校図書館員の 20-単 位プログラム
12. Others	-National Central Library (NCL) -Library Association of China (LAC)			Learning passport		

表 2. 台湾における LISE 認定システム

3. 台湾における LIS 教育のカリキュラムと最近の動向

1990 年代を通じて図書館学科から図書館情報学科への名称変更が相次ぎ、情報技術の進歩および図書館学教育の世界的動向への適合が図られた。しかし「情報」の語がしばしばコンピュータを意味するものと誤解されたため、LIS カリキュラムにも種々の問題が生じた。インターネット以後のデジタル時代に適応するため LIS 教育機関は知識の統合と応用に重点を置くようになった。特に台湾図書館法が公布されて以来、多くの図書館員が職務内容の上でも職務能力の上でも要件を満たさないことが明らかになり、LIS 教育機関は職を維持し知識と職務能力を向上させることを希望する受講者のためのコースを開発し始めた。中国図書館学会もデジタル化時代の図書館員の指導のため積極的に活動している。LIS 教育機関は「デジタルアーカイブの企画と実際」「デジタル情報サービスとマーケティング」「ナレッジマネジメント」「電子書式の保存と管理」「XML とその図書館での利用」「デジタルコンテンツとサービス」といった会議を主催して専門家を結集し、適切なカリキュラムを作成することに努めている。

インターネットを介しての e ラーニングも LIS 教育の新しい傾向の一つであり、その理論と実践、教授法や遠隔教育の研究、e ラーニングを含む LIS カリキュラムの作成などが活発に論議されている。たとえば世新大学の学部および大学院レベルの情報通信プログラムでは、科目の内容も教授法も情報技術の変化に対応すべく繰り返し改定されている。

新しい科目の例としては「ウェブページのデザイン」「デジタルメディア入門」「メディアリテラシー」「ビジュアルアート」「対話型プログラミング」「デジタルメディアと付加価値情報サービス」「デジタルアーカイブ」などがある。また図書館情報サービスの新傾向に即応した科目として「インターネットとネットワーク」「利用者研究」「電子出版」「情報行動」なども開講されている。台湾の LIS 教育の最近の動向を要約すれば、「デジタル」「インターネット」「マルチメディア」および関連主題となる。

4. 台湾における図書館員ないし情報専門家の労働市場

情報化社会の新傾向に追随する理由の一つは、学生の就職機会を拡大することである。情報サービス要員のニーズがあることは確かであるが、さらに情報技術上の能力を持つ要員が求められている。また最新技術が就職上有利なことは事実としても、基礎的な人文科学的素養や経営能力もいずれ必要になるものと考えている。

図書館員や情報専門家の労働市場では「情報コンテンツ」とその関連分野が拡大している。台湾の図書館の約 90%が国立であるため、図書館員は国家公務員と見なされ、図書館に就職するには公務員試験に合格せねばならず、就職後も地位・給与は固定されている。最新の情報スキルを習得しても図書館ではそれを生かせる可能性が小さい。このため最近の卒業生は、図書館より高い収入が得られる情報専門家を目指して民間企業に就職することが多い。

5. 台湾の LIS 教育機関間の単位交換制度

LIS 教育機関間の単位交換は活発でなく、学生が転校した場合でも、転校先が出身校での取得単位を認めるとは限らない。これは科目の単位数や科目内容が大学ごとに異なり統一的な扱いが困難なためである。同一名称の科目でも内容が異なり、したがって課題も異なることがある。しかしながらこの問題を扱う委員会が組織されており、適当な時期に決定を下すことになる。

6. IFLA の経験

ブエノスアイレスで開催された IFLA2004 において、東アジアにおける LIS 教育機関の域内協力に関する論議で、LIS 教育機関の単位交換制度についてある程度の意見の一致が見られたが、概念と実際とのギャップは大きく、この問題をより詳細に検討するために検討グループの設置が必要である。LIS 教育機関の問題は国によっても異なっている。教育訓練部会 (SET) では各学校ごとに要求条件が異なることが承認された。中核的科目の選択が一様化されれば、内容や単位数の標準化について地域内の合意が得られる可能性があり、ガイドラインや標準を定めることができれば現実化への一歩が踏み出されることになる。この実現を期待したい。

7. 問題点と将来への期待

- カリキュラムの設計において学部レベルと大学院レベルの接続に困難が見られる。これは特に学部での専攻が LIS でなかった学生にとって重要な問題である。大学院側から見れば、専攻の異なる学生は LIS の技術サービス、公共サービス、図書館経営などの基礎知識を欠いていることが問題である。
- LIS プログラムと公務員試験や資格認定との関係は台湾における論争問題として残っている。LIS 卒業生は各種図書館への就職において優先権を持つわけではなく、LIS 専攻でない学生が図書館部門の公務員試験を受けて合格し就職することもあり得る。このような雇用方法は合理的とは言い難い。
- LIS 教育と図書館との間には依然として壁があり、大学図書館と LIS プログラムとの連携が悪い場合も希ではない。すなわち理論と実際が噛み合わず、双方が相手方から学ぶ機会も乏しい。
- LIS 教育は、その質を維持するとともに、情報通信関係での競争力を高めることが望まれる。LIS 教育機関はコミュニケーションスキルを高める必要がある。
- 情報技術が強調される結果、学生に人文科学的素養が乏しくなり、これが原因で大学も教育よりツールを重視するようになりかねない。
- L のない LIS 教育、C のない IC 教育に陥る虞は特に学部レベルで大きい。我々の教育プログラムが生み出すものはフランケンシュタインであろうか、ソクラテスであろうか。

参考文献:

- National Library, Taipei. (2004) 2003 Yearbook of Librarianship in Taiwan. National Library, Taipei. pp. 375-482
- Pan Yentao & Cheng Huanwen (2004) SHIJIIE TUSHUGUAN XUE JIAO JINZHAN. Beijing Library Press, Beijing, China. pp. 220-255.
- Lin Chihfeng, ed. "Current development of LISE in Taiwan, 2002" special issue in CALISE News Letter. Pp10-53.

追加情報のための有用なウェブサイト

- Library and Information Professions and Education Renewal, LIPER
<http://www.ai-gakkai.or.jp/jslis/liper/gaiyo.html>
- Chinese Association of Library and Information Science Education (CALISE)

<http://www.calise.org.tw/education/domestic.htm>

2002 年臺灣地區圖書資訊學相關系所現況

- Department of Library and Information Science, National Taiwan University
<http://www.lis.ntu.edu.tw> 台灣大學 圖書資訊學系所
- Graduate Institute of Library, Information, and Archival Studies, National Chengchi University
<http://www2.nccu.edu.tw/%7EElis/> 政治大學圖書資訊學研究所
- Department of Adult & Continuing Education, National Taiwan Normal University
<http://www.ntnu.edu.tw/ace/index.htm> 師範大學社會教育學系圖書館組
- Graduate Institute of Library & Information Studies, National Taiwan Normal University
<http://www.ntnu.edu.tw/ace/01.htm> 師範大學圖書資訊研究所
- Graduate Institute of Library & Information Science, National Chung Hsing University
<http://www.nchu.edu.tw/%7Egilis/9/9.htm> 中興大學 圖書資訊學研究所
- Program of Digital Library, National Chiao Tung University
<http://vic.lib.nctu.edu.tw/liborg/org05b6-1.htm> 交通大學 數位圖書資訊組碩士在職專班
- Department of Information and Library Sciences, Tamkung University
<http://www.dils.tku.edu.tw> 淡江大學 資訊與圖書館學系所(原教育資料科學系)
- Department of Library & Information Science School of Continuing Education
Fu Jen Catholic University <http://www.lis.ntcc.fju.edu.tw/> 輔仁大學圖資系夜間部
- Department of Library and Information Science, Fu Jen Catholic University
<http://www.lins.fju.edu.tw/> 輔仁大學 圖書資訊學系所
- Department/Graduate Program of Information & Communications, Shih-Hsin University
<http://ic.shu.edu.tw/> 世新大學 資訊傳播學系所(原圖書資訊學系)
- Department of Library & Information Sciences, Hsuan-Chuang University
<http://www.hcu.edu.tw/> 玄奘大學 圖書資訊學系
- Department of Humanity and Liberal Arts, Division of Communication, Library and Information
National Open University
<http://www.nou.edu.tw> 國立空中大學人文學系 傳播與圖書資訊組

Chihfeng Lin (林志鳳) 先生略歴

Chihfeng Lin (林志鳳) 博士は、Simmons College より D.A を、Montana 大学より教育学修士を、Fu-Jen 大学 (輔仁大學) より図書館情報学学士を取得した。2004 年現在 Shih-Hsin 大学 (世新大學) 情報コミュニケーション学部・大学院の助教授兼学部長を担当している。また、1984 年から 1993 年には、世新大學講師を担当し、1986 年から現在まで Open University (國立空中大學) にて図書館情報学プログラムの講師を担当し、2002 年より 2004 年の間は Shih-Hsin 大学 (世新大學) 図書館のディレクターを兼務した。林博士は、1987 年から 1989 年には Library Association of Chinese (LAC) の理事を、Chinese Association of Library & Information Science Education の教育委員会委員、高等学校図書館委員会諮問委員、公共図書館委員会諮問委員を歴任している。また、IFLA LISE World Guide の台湾地域の編集委員、ASIS&T、ALA、ALISE のメンバーでもある。

教育面では、大学で、情報コミュニケーション文献案内、コミュニケーション研究手法と理論、情報リテラシー、情報提供機関の運営、情報サービスのマーケティング、蔵書構築、書店経営、マーケティングと PR を、大学院で、研究調査法、学位論文指導、情報産業調査、情報提供管理、知識管理、情報システム評価を担当している。主要な著書として、「情報入手と蔵書構築」、「図書館の利用法」、「図書館学入門」を執筆したほか、数多くの論文を発表している。